NEC

VC-D850

Vistack Hi-Fiビデオデッキ

DIGITAL



HQ

VC-D850はVHS方式のビデオデッキです。
VHSマークのついたビデオカセットテープ以外は使用できません。 VHS

取扱説明書

本機の機能を十分に生かしてお使いいただくために、この取扱説明書と別冊の設置説明書をよくお読みください。
なお、説明書は大切に保管し、ご使用中にわからないことや万一不具合が生じたときご参照ください。

特長

電話予約なら、こんなときでも大丈夫。



仕事が長びきそう……
あの番組見たかったのに



野球放送が延長、
さあ、録画時間も
延長しなくては…



しまった!!
あの番組今日だった。

●こんなときは、すぐピッポッパ、電話予約はいろいろ便利。



S-デジタル・ノイズワイパー

輝度信号だけでなく、色信号に対してもノイズリダクションを行なうS-デジタル・ノイズワイパーを搭載。画面のノイズを減らし、鮮やかな映像を再現。
（輝度信号は8ビット、色信号は6ビットで処理）



デジタルが特殊再生も鮮やかに実現

再生中、およびＴＶ放送中の画面を静止するデジタルメモリーをはじめ、デジタルスロー、デジタル静止画、ストロボ再生がノイズやブレのない美しい映像でご覧いただけます。



見逃さないタイマー録画

留守のときでも、セットさえしておけば、指定の時間に録画をスタート。毎日予約、毎週予約はもちろん、最大３週間８プログラムまで予約が可能。月～土、月～金の毎日というウイークデー録画もできます。



ピクトサイン採用の見やすいワイドディスプレイ

テープの走行状態を表示するピクトサイン、タイマー予約の表示など各種表示を集中ディスプレイ。



優れた音質の VHSハイファイ録音

高音質を追求したVHSハイファイ方式により、ダイナミックレンジ90dB以上を実現。原音に忠実なキレのいい音をお約束します。



見たいシーンへひとっ飛び、ジェットサーチ

標準モードで4倍、8倍。3倍モードでは9倍、21倍の2段階可変式のスピードサーチを搭載。まさに見たいシーンまでひとっ飛び。



豊富なオート機能

カセットを入れると自動的に電源が入るオートパワーオン。電源OFFでもカセットを取り出せるパワーオフイジェクトをはじめ、オートプレイ、テープキャンセラー、オートリワインドと盛りだくさんのオート機構です。



開始時刻も指定できる ワンタッチタイマー録画

開始時刻の指定は24時間後までの15分単位。録画時間は最大6時間59分とテープエンドまで。しかも1分単位の設定も可。



見たい番組も簡単に頭出し

録画時にインデックス信号を記録。再生時にボタン操作をするだけで見たい番組がすぐにさがせます。さらに現在位置からの時間指定で自動再生させることもできます。

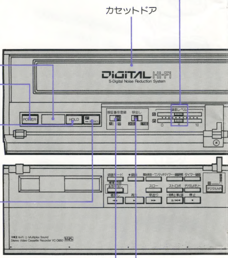
ご注意とお願い

- あなたがテレビ放送やレコード、録画物から録画・録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本機およびテープ、ビデオカメラなどを使用中、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。大切な録画の場合は事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 本機の「3倍」モード(長時間)で録画したテープは「標準」モード専用のVHSビデオで再生できません。

HQマークがついたビデオデッキは、VHS高画質技術が採用されています。なお従来方式のVHSビデオとは互換性があります。



各部の名称



録音レベルつまみ
（☛ P11、39）
Hi-Fi 音声の録音レベルを調整します。

リモコン受光窓（☛ P19）

電源ボタンとランプ
電源を入れると兼用のランプが点灯します。

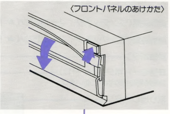
HOLD（ホールド）ボタンとランプ
（☛ P23）
強制的に電話予約モードにするボタンです。電話予約モードのときは、兼用のランプ（橙色）が点灯します。

ABSENCE（アブセンス）ボタンとランプ
（☛ P23）
外出モード、在宅モードを切り換えるときに使います。外出モードのときは、兼用のランプ（赤色）が点灯します。

暗証番号登録スイッチ（☛ P23）
暗証番号を登録するときは、スイッチを"ON"にします。

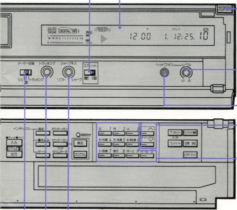
呼出しスイッチ（☛ P24）
外出先から電話予約するとき、応答するまでの呼出し回数の選択に使います。

オープンボタン



エディットスイッチ（☞ P45）
テープコピーするときは、"ON"にします。コピー時の画質劣化を防ぎます。

表示窓（☞ P5）



ヘッドフォン音量つまみ（☞ P9）
ヘッドフォンの音量を調整します。

ヘッドフォン端子（☞ P9）

チャンネルボタン（☞ 11、31）
見たいチャンネルを選ぶときに使います。

10キー（☞ P22、23、35）
チャンネル直接選局やタイマー予約、時計を合わせるときに使います。たとえば10チャンネルなら、"1"、"0"を押します。

シャープネスつまみ（☞ P14）
再生画像の画質を調整します。

トラッキングつまみ（☞ P14）
テープ再生時、画面にノイズが出るとき、このつまみで調整します。

メーター切換スイッチ（☞ P39）
録音レベルとトラッキング表示、およびメーターオフの切り換えに使います。

各部の名称

タイマー録画ボタン(☛ P36)
タイマー録画の入/切の切り換えに使います。

ストロボボタン(☛ P16)
ストロボ再生をするときに使います。

録画時間(ワンタッチタイマー)ボタン(☛ P31)

開始時刻(ワンタッチタイマー)ボタン(☛ P31)

録画ボタン

録画モードボタン(☛ P12)
録画時間の切り換えに使います。

取り出しボタン

巻戻しボタン

再生ボタン

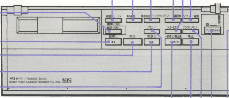
早送りボタン

スローボタン(☛ P18)
スロー再生をするときに使います。

一時停止/静止画ボタン

停止ボタン

デジタルメモリーボタン(☛ P16)
再生やテレビ放送時の画面を止めて見るときに使います。



入力切換ボタン(☛ P9)
内蔵のテレビチューナとライン入力を選択します。

デジタルNRボタン(☛ P15)
デジタルNR機構の"入/切"に使います。

音声出力ボタン(☛ P10)
Hi-Fi音声(主、副、主+副)とノーマル音声の選択に使います。

〈タイマー表示窓〉

トラッキング表示(☛ P39)
ハイファイ音声表示(☛ P10)
デジタルNR表示(☛ P15)
デジタルメモリー表示(☛ P16)
タイマー録画表示(☛ P33、36)
「週」表示(☛ P36)
「曜日」表示(☛ P36)
ステレオ表示(☛ P10)
二重音声表示(☛ P10)
チャンネルコンバート表示(☛ P47)
ビデオ表示(☛ P12)



レベルメーター(☛ P39)
音声出力表示(☛ P10)
ツメ折れ表示(☛ P8)
カセット表示(☛ P7)
録画/再生モード表示(☛ P12)
ピクトサイン(☛ P6)
サーチ表示(☛ P44)
プログラム番号表示(☛ P36)
時刻/カウンター表示(☛ P31、36、40、41、44)
チャンネル表示(☛ P11、47)
カウンターメモリー表示(☛ P40)
インデックス表示(☛ P41)
ワンタッチタイマー表示(☛ P31)

消去ボタン（☛ P43）
インデックス信号を消すときに使います。

カウンターメモリーボタン（☛ P40）
テープの頭出しに使います。

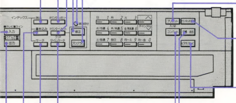
カウンターリセットボタン（☛ P40）
カウンターを"0000"にするとき、タイマー予約の内容を消すときに使います。

修正ボタン（☛ P22、37）
タイマー予約や時計を合わせるとき、内容を修正するときに押します。

時刻合せボタン（☛ P22）

プログラムボタン（☛ P35）
タイマー予約録画のとき、プログラムを予約するときに使います。

プリセットボタン（☛ P47）
受信チャンネルを合わせるときや、変更するときに使います。



ワンタッチ選局ボタン
（☛ P47）
受信チャンネルを自動で合わせるときに使います。

ビデオ/テレビボタン
（☛ P12）
ビデオとテレビの信号を切り換えます。

タイムサーチボタン（☛ P44）
時間指定をして再生するときに使用します。

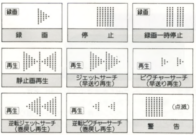
記憶/消去ボタン（☛ P47）
任意の受信チャンネルを消したり、復帰させるときに使います。

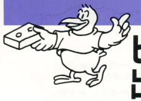
インデックスサーチボタン（☛ P41）
インデックス信号の位置から自動頭出し再生をするときに使います。

コンバートボタン（☛ P47）
1から12チャンネルの表示位置に、お好みの放送チャンネルを合わせるときに使います。

書き込みボタン（☛ P43）
インデックス信号を任意に記録するときに使います。

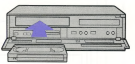
〈ピクトサイン〉





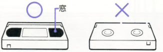
ビデオカセットの出し入れ

カセットの入れかた



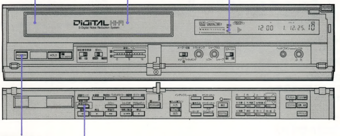
ビデオカセットを入れると自動的に電源が入ります。（オートパワーオン）
ビデオカセットを入れ、引き込まれるまで押します。電源が入り、"▢▢"マークが点灯します。

ビデオカセットは、窓のある面を上にして入れます。ビデオカセットの取扱説明書もご覧ください。



ビジュアルミラー
カセットを入れるとランプが点灯。
テープの状態が確認できます。

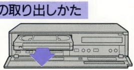
カセットを入れると点灯



電源ボタン

カセットの取り出しかた

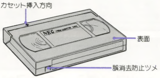




取り出しボタンを押すと、カセットが出てきますので取り出します。
本機を使わないときは、電源を切っておきましょう。
電源が切れているときでも、取り出しボタンを押すとカセットを取り出すことができ、取り出したあとは再び電源が切れた状態になります。
（パワーオフイジェクト）

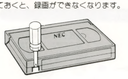
ビデオカセットについて

本機は、VHS方式のビデオデッキです。ビデオテープや市販のソフトテープ(映画などが録画されているテープ)をお買い求めの際は VHS マークのついたテープをご指定ください。



■大切な録画テープを消さないために

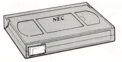
カセットの背にあるツメをドライバーなどで折っておくと、録画ができなくなります。



本機は、大切な録画を間違って消さないように、ツメの折れたカセットで録画操作をしたとき、カセットが自動的に出てきます。
(テープキャンセラー)

■再び録画したいとき

ツメを折った部分にセロハンテープを2重に貼ります。



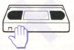
■テープの種類と最大録画時間

テープの種類	最大録画・再生時間	
	標準モード	3倍モード
T−160	2時間40分	8時間
T−120	2時間	6時間
T−90	1時間30分	4時間30分
T−60	1時間	3時間
T−30	30分	1時間30分

標準モードと3倍モードの切り換えは録画モードボタンで行ないます。

ご注意

ビデオカセットの中央を押して入れてください。
端の方を押すと途中で引っかかる場合があります。





入力の切り換え

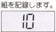
記録する内容は、入力切換ボタンで選びます。通常はテレビにして使います。

入力切換ボタン

ボタンを押すごとに"テレビ"と"ライン"が交互に切り換わり、テレビ/ライン表示が点灯して知らせます。

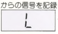


テレビ…本機内蔵のテレビチューナでテレビ番組を記録します。(P11)

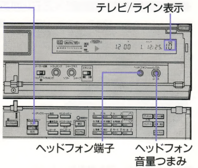


チャンネル番号を表示

ライン…AUDIO/VIDEO IN 端子 (他のビデオデッキ、オーディオシステムなど)からの信号を記録します。(P38)

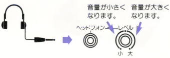


"L"を表示



ヘッドフォンでの楽しみかた

お手持ちのステレオヘッドフォンをヘッドフォン端子へ接続すると、Hi-Fi 音声のステレオや二重音声(二ヵ国語)が楽しめます。音量は、つまみを回して、調節してください。ヘッドフォンはステレオミニプラグ付をお使いください。



Hi-Fi録音について

■Hi-Fi音声の記録方法について

本機は、Hi-Fi音声専用の回転ヘッドを備えたVHS方式のHi-Fiビデオです。音声は次の2つの方法で記録されます。

Hi-Fi音声

映像信号はテープ上層部に、音声信号はテープ深層部に2チャンネル(ステレオ)で記録します。

この記録は、Hi-Fi音声専用の回転ヘッドを使ったFM(周波数変調)録音方式なので、優れたHi-Fi音声で録音、再生されます。

ノーマル音声

従来のビデオと同じ録音方式で、テープの端にモノラル録音、再生されます。

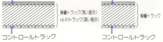
■従来の録音方式との互換性

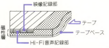
従来通りの録音(ノーマル)も同時に行なわれますので、従来のビデオでも再生することができます。また従来のビデオで録音したテープも再生することができます。

■音声の記録のしかた

音声多重放送のステレオ放送は、Hi-Fiトラックにステレオ音声(2チャンネル)で記録されますが、ノーマルトラックにはモノラル音声で記録されます。

二重音声(二ヵ国語)放送は、Hi-Fiトラックに主音声と副音声を記録しますが、ノーマルトラックには主音声のみ記録されます。





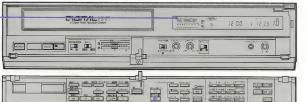


音声のモニタ

録画や再生時に音声出力ボタンで、お聞きになりたい音声を選びます。

Hi-Fi表示

録画時、およびビデオを使ってテレビを見るときや、Hi-Fi 録音されたテープを再生すると点灯します。

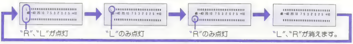




音声出力ボタン

ボタンを押すごとに"ステレオ"、"右"、"左"、"ノーマル"と音声を切り換えることができ、音声モニタ表示が点灯してモニタ内容を知らせます。

"ステレオ"音声のとき　"左"音声のとき　"右"音声のとき　"ノーマル"音声のとき



"R"、"L"が点灯　"L"のみ点灯　"R"のみ点灯　"L"、"R"が消えます。

音声出力ボタン	オーディオ出力端子		VHF/UHF 出力端子
	ステレオ放送	二重音声放送	ステレオ放送（二重音声放送）
ステレオ	ステレオで聞こえる。	●左スピーカから主音声(日本語) ●右スピーカから副音声(外国語) が聞こえる。	左＋右 (主＋副)
左	両方のスピーカから左の音声が聞こえる。	両方のスピーカから主音声(日本語)が聞こえる。	左 (主)
右	両方のスピーカから右の音声が聞こえる。	両方のスピーカから副音声(外国語)が聞こえる。	右 (副)
ノーマル	両方のスピーカから左＋右の音声が聞こえる。	両方のスピーカから主音声(日本語)が聞こえる。	左＋右 (主)

VHF/UHF出力端子で音声多重テレビに接続しても、上の表の"VHF/UHF出力端子"と同じ音声になります。

音声多重放送について

音声多重放送を受信しているときは、表示が点灯して放送内容を知らせます。

ステレオ放送受信のとき点灯

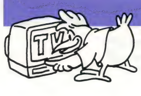
ステレオ	二重音声

二重放送(二ヵ国語)受信のとき点灯

受信された音声多重放送は、音声出力ボタンの操作に関係なく記録されます。

ご注意

- 従来のステレオ対応ビデオデッキで記録したテープを本機で再生すると、ステレオ放送はモノラル音声になり、二重音声放送は、主音声と副音声が一緒に聞えます。
- 音声多重放送やFM放送を本機で記録したテープを"ノーマル"で再生すると、ステレオ放送はモノラル音声になり、二重音声放送は主音声でお聞きいただけます。
- 本機で音声多重放送を記録したテープを、Hi-Fi録音方式以外のビデオで再生すると、主音声が再生されます。



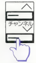
テレビ番組の録画

❶ ツメの折れていないビデオカセットを入れます。



カセットが入っているときは、電源ボタンを押してください。

❷ 録画したい番組を選びます。



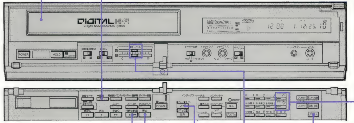
チャンネルを押します。

❸ 録画ボタンを押します。



ピクトサインが出て録画が始まります。

- ツメの折れているカセットが入っていると自動的に出てきます。



一時停止/静止画ボタン

ビデオ/テレビボタン

録画をやめるときは

停止ボタンを押します。録画をしたあとは、テープを巻戻しておくと再生のとき便利です。



録音レベルつまみ

「左」「右」のつまみを動かし、中央の"カチッ"と止まる位置にします。

入力切換スイッチ

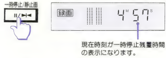
テレビ番組を録画するときは、必ず"テレビ"にします。

ご注意

- 録画一時停止からのつなぎ録画部分で乱れの少ない画像が得られるよう、一時停止のときは、わずかにテープを巻戻します。
- 録画中や録画一時停止中に録画モードを換えると、その部分の画像が乱れます。

一時停止のしかた

録画中、不要な場面のカットや録画チャンネルを変えるときは一時停止/静止画ボタンを押します。



もう一度押すと録画が始まります。
（録画ボタンを押しても録画が始まります）

録画モードの切り換え

録画時間の選択は、録画モードボタンで行ないます。選んだモードは、表示窓に表示されます。



標準 ……テープ速度が速く、より良い画質、音質で記録できます。

3倍 ……"標準"に比べて3倍の録画時間が得られます。長時間番組を録画するときにおすすめします。

一時停止残量時間表示について

一時停止は、テープやビデオヘッド保護のため、約5分で自動的に解除されます。一時停止残量時間表示は、解除されるまでの残り時間を秒単位で減算しながら知らせます。
0秒になると録画が停止し、元の現在時刻表示に戻ります。

録画中の番組を見るには

■ビデオとテレビをVHF/UHF端子で接続している場合

1. テレビの電源を入れ、ビデオ専用チャンネル1、または2にします。
2. ビデオ/テレビボタンを押して"ビデオ"にします。ビデオ表示が点灯します。



■ビデオとテレビをビデオ/オーディオ入出力端子で接続している場合

テレビのビデオ切換ボタン(ビデオ/テレビの切り換え)を「ビデオ入力」にします。

録画中に別の番組を見るには

1. ビデオ/テレビボタンを押して"ビデオ"表示を消します。



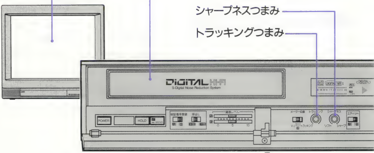
2. テレビ側で見たい番組を選びます。



再生のしかた

❶ テレビの電源を入れ、ビデオ専用チャンネル1、または2にします。

別紙の設置説明書(②ビデオ専用チャンネルの設定)を参照してください。



❸ 再生ボタンを押します。
(ツメの折れていないカセットの場合)

数秒すると再生画がテレビに映ります。

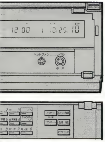


録画されたビデオカセットを入れます。

カセットが入っているときは、電源ボタンを押してください。



本機は、ツメの折れているカセットを入れると自動的に再生が始まります。
（オートプレイ）

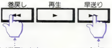


再生をやめるときは停止ボタンを押します。



早送り・巻戻しのしかた

停止状態にしたのち、早送り、または巻戻しボタンを押してください。



再生画像にノイズが出るとき

再生画像に図のようなノイズが出るときは、トラッキングつまみを左右に回して、画面がきれいになるように調整します。

- トラッキングつまみは、通常は中央の位置にしておきます。



画質の調整について

再生画像の画質を調整するときは、シャープネスつまみを左右にゆっくり回わします。



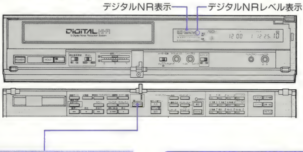
オートリワインド機構

録画（ワンタッチタイマー録画、タイマー録画を除く）や再生のときなどに、テープが終りになるとオートリワインド機構が働き、自動的にテープを巻戻します。



デジタルNRについて

本機は、デジタル技術を利用した独自の8ビットS-ノイズ・リダクション（ノイズ低減）システムを内蔵しています。ノイズの多いテープを再生するときに、ノイズの少ないきれいな画面で見ることができます。またデジタル静止画や放送中のテレビ画面を見るときにも使用できます。



デジタルNRボタン

テープを再生したときに、画面のノイズ（ざらつき）が気になる場合、また電波状態が悪く、妨害電波やノイズでテレビの映りが悪い場合は、デジタルNRボタンを押します。ボタンを押すごとに、ノイズの低減効果を3段階まで選べますので、最適の条件でお使いください。



最初に押すとONになり、デジタルNR表示が点灯します。同時にレベルⅠに設定されます。

Ⅰ …ノイズの低減効果が適当
通常はこの位置でお使いください。



Ⅱ …ノイズの低減効果が強い
特にノイズが多い場合にお使いください。



Ⅲ …ノイズの低減効果は強いが、前の画面が残って特殊効果的になる。
極端に電波状態が悪い場合、または、テープコピーを繰り返してノイズにうもれた画像などのときお使い下さい。ノイズが多くない場合、前の場面が残って特殊効果的になります。

表示なし …デジタルNR「切」の状態

このようなときに効果的

■テープ再生のとき

① 標準モードで録画したテープでノイズが目立つ場合 ―レベルⅠをおすすめします。
② 3倍モードで録画したテープ。
③ テープコピーして画質の劣化したテープ。

■放送中のテレビを見るとき

本機を受信機としてテレビを見るときにも有効で、きれいなテレビ画面でご覧いただけます。特に受信状態が悪くノイズが多い場合に効果が出ます。

■テープコピーをするとき

本機を再生機として使用すると、画質の劣化を防ぎます。
デジタルNRをかけた再生画は、シャープネスつまみと組み合わせて使用し、もっとも見やすい画像に調節してください。

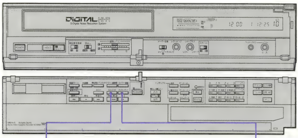
ご注意

- デジタルNRは、通常再生、静止画、ストロボ再生時、デジタルメモリー、および放送中のテレビ画像やVIDEO IN端子に入力された画像に作動します。その他の特殊再生や録画には働きません。
- 静止画、デジタルメモリーにデジタルNRをかけるときは、これらのモードにする前にデジタルNRを"ON"にしてください。
- デジタルNRレベル調整スイッチを"Ⅲ"にしたとき、画像によっては、尾を引いたり、前の画面が残ります。



デジタル再生

デジタル技術の採用で、デジタルメモリーやストロボ再生などの特殊再生もノイズやブレのないきれいな画像でご覧いただけます。



ストロボボタン

分解写真のように、静止画を一定間隔で見ることができます。音楽番組など動きのあるシーンに効果的です。

テープ再生中、またはテレビ番組を見ているときに、**ストロボボタン**を押します。
一定間隔の静止画面を見ることができます。



ストロボの間隔調整

最初に押すと　1秒間に約6コマ
↓
1秒間に約3コマ
↓
1秒間に約2コマ
↓
通常の再生

再生ボタンを押しても通常の再生画面に戻ります。

ご注意

デジタルメモリーのとき、画が乱れたり、画が出ていない場合は、もう一度デジタルメモリーボタンを押してください。

デジタルメモリーボタン

放送中のテレビ番組、およびテープの再生中にテレビの画面を瞬時に止めて見ることができます。このとき、音声はそのまま聞けます。クイズ番組の宛名書き、料理番組の材料表のメモなどのときに利用すると便利です。

テープ再生中、またはテレビ番組を見ているときに、**デジタルメモリーボタン**を押します。

「DIGITAL MEMORY」表示が点灯し、メモリーされた静止画面になります。



DIGITAL MEMORY　点灯します。

もう一度押すと通常の再生、またはテレビ画面に切り換わります。

デジタルメモリーでは、画像を静止させてもテープやテレビ番組は進行していますので音声は聞こえます。

■デジタルメモリーとデジタル静止画の違い

	デジタルメモリー	静止画
テレビ番組	静止できる	静止できない
テープ走行	走行する	停止する
音　　声	聞こえる	聞こえない

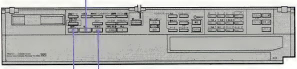


いろいろな再生

ピクチャーサーチ/ジェットサーチ

再生中見たい場面を早くさがしたり、不要な場面を飛ばしたりすることができます。

再生ボタン



逆転ピクチャーサーチ/ジェットサーチ(巻戻し再生)

テープ再生中に巻戻しボタンを押します。

逆転ピクチャーサーチ

標準モード――― 4倍速の逆転再生になります。
3倍モード――― 9倍速の逆転再生になります。



押すごとに繰り返します。

逆転ジェットサーチ

標準モード――― 8倍速の逆転再生になります。
3倍モード――― 21倍速の逆転再生になります。

再生ボタンを押すと通常の再生に戻ります。

ピクチャーサーチ/ジェットサーチ(早送り再生)

テープ再生中に、早送りボタンを押します。

ピクチャーサーチ

標準モード――― 4倍速再生になります。
3倍モード――― 9倍速再生になります。

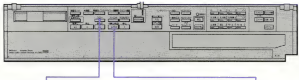


押すごとに繰り返します。

ジェットサーチ

標準モード――― 8倍速再生になります。
3倍モード――― 21倍速再生になります。

再生ボタンを押すと通常の再生に戻ります。



スローボタン(デジタル1/3再生)

早い動きをゆっくりした速度で見ることができ、ノイズやブレのない、なめらかできれいな画面でご覧いただけます。

テープ再生中、または静止画再生のときに
スローボタンを押します。
⅓の速度で再生されます。



スローボタンをもう一度押すか、再生ボタンを押すと通常の再生に戻ります。

デジタルスロー、デジタル静止画でノイズバーが出るときは、トラッキングつまみで調整してください。デジタル静止画でのトラッキング調整はいったん、スロー再生にして調整後静止画に戻してください。



一時停止/静止画ボタン(デジタル)

画面の動きを止めてじっくり見ることができます。

テープ再生中に
一時停止/静止画ボタンを押します。
押します。
静止画再生になり、現在時刻表示が一時停止残量時間表示にかわります。



もう一度押すと通常の再生に戻ります。

デジタルNRをONにして静止画にすると、ノイズの少ないクリアな静止画をご覧いただけます。

ご注意

- ピクチャーサーチ／ジェットサーチ中は、画面に数本ノイズが出ます。
- スロー再生中、画像が垂直方向に流れるときは、トラッキングつまみで調整してください。
- いろいろな再生では、音声がでません。
- 静止画再生は、約5分で自動的に解除され、通常の再生に戻ります。
- テレビによっては、標準モードでのピクチャーサーチ中、色が消えることがあります。
- 本機以外のビデオデッキで録画したテープや市販のソフトテープは、いろいろな再生をすると色が消えたり、画面上部がゆがむことがあります。

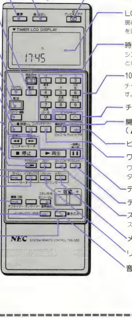


システムリモコンについて

ビデオを操作するとき



リモコン受光窓
ここにシステムリモコンを向けます。
距離……リモコン受光窓より7m以内です。
角度……約60°です。



電源ボタン

取出しボタン

修正ボタン（☞P21、35）
時刻合わせ、タイマー予約時の内容を修正するときに押します。

プログラムボタン（☞P34）
リモコンでタイマー録画のプログラムを予約するときに押します。

転送ボタン（☞P22、33）
リモコンで予約したプログラムをビデオへ送ります。

タイマー録画ボタン（☞P33）
タイマー録画状態にしたり解除したりします。

録画ボタン
録画するとき、セーフティボタンと一緒に押します。

セーフティボタン

デジタルNRボタン（☞P15）

スローボタン（☞P18）
スロー再生をするボタンです。

タイムサーチボタン（☞P44）

インデックスサーチボタン（☞P41）

録画モードボタン（☞P12）

インデックス消去ボタン（☞P43）
インデックス信号を消すときに使います。

インデックス書き込みボタン（☞P43）
インデックス信号を任意に記録するときに使います。

システム切換スイッチ
スイッチを"ビデオ"にします。
使わないときは"切"にします。

LCD（液晶）表示窓
現在時刻やタイマー予約時のプログラム内容を表示します。

時刻合せボタン（☞P21）
システムリモコンの内蔵時計の時刻を合わすときに押します。

10キー（☞P21、33）
チャンネル直接選局やタイマー予約に使います。10チャンネルなら"1"、"0"を押します。

チャンネルボタン（☞P11、31）

開始時刻（ワンタッチタイマー）ボタン（☞P32）

ビデオ/テレビボタン（☞P12）

ワンタッチタイマー録画ボタン（☞P31）
ワンタッチタイマーの録画時間を設定するボタンです。セーフティボタンと一緒に押します。

テープ操作ボタン

デジタルメモリーボタン（☞P16）

ストロボボタン（☞P16）
ストロボ再生をするボタンです。

メモリーボタン（☞P40）

リセットボタン（☞P40）

音声出力ボタン（☞P10）

ご注意

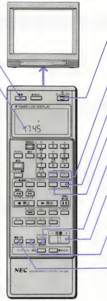
- リモコン受光窓に、直射光や強い光をあてないでください。
- リモコンに強い衝撃を与えないでください。
- 高温・多湿の場所をさけ、水などがかかったときは、すぐに拭き取ってください。

テレビを操作するとき

詳しい働きは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

電源ボタン　テレビの主電源スイッチがONのとき作動します。

LCD表示窓　現在時刻を表示します。



本機のリモコンで操作できるテレビ
（昭和60年11月以降発売の当社テレビのうち下記のものが操作できます。）

15型
C-15Z12V、C-15R302、C-15M319、C-15R313、C-15R333、C-15C311、C-15M320、PC-TV351、PC-TV352、PC-TV451、PC-TV452、PC-TV453

19型
C-19A21V、C-19R512、C-19R512(D)、C-19R522、C-19R523、C-19R544、C-19W535、PC-TV453N

21型
C-21R705、C-21G709、C-21R715、C-21R731、C-21W725D、C-21M729、PC-TV471、C-21W742、C-21R753、C-21M729S、C-21W725K、PC-TV472

25型
C-25R918、C-25R924、C-25R936、C-25G921、C-25W934

27型
C-27HT1

28型
C-28G907、C-28R908、C-28W927、C-28R928、C-28G937

29型
C-29W947、C-29R948、C-29BS80

32型
C-32G938

46型
PJ-T462

システム切換スイッチ
スイッチを"テレビ"にします。
使わないときは"切"にします。

チャンネルボタン
押すごとにチャンネルが１局ずつ変わります。

テレビ/ビデオボタン
テレビ画面に写す入力を選びます。
（テレビの説明書参照）

チャンネルコールボタン
テレビ画面にチャンネル表示を出したり、消したりします。

音声消去ボタン
テレビの音声が消えます。もう一度押すと音声が出ます。

音量ボタン
テレビの音量を調節します。
「＋」……音が大きくなります。
「－」……音が小さくなります。

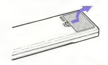
オンタイマーボタン
テレビの電源を入れる時刻を指定します。ビデオの電源は入りません。

オフタイマーボタン
テレビの電源を切る時刻を指定します。ビデオの電源は切れません。

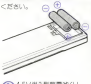
ご注意　オンタイマー、オフタイマーを10キーで操作する一部のテレビの場合は、このリモコンでオンタイマー、オフタイマーを動作させることはできません。

乾電池の入れかた

電池の寿命は、リモコンの使用状態にもよりますが、約１年ごとに新しい乾電池に２個とも取り替えてください。



❶ つまみを引きながら、電池ぶたを取りはずします。



❷ 1.5V単３型乾電池（UM-3）２本を、⊕⊖の表示通りに入れ、ふたを元通りにとじます。

■電池使用上の注意

電池を誤って使用すると、液もれや故障・破裂の原因となりますので次の点にご注意ください。

- プラス⊕とマイナス⊖をリモコンの指示通りに入れてください。
- 新しい電池の場合通常約１年使えますが、LCD表示窓が見にくくなったら交換してください。
- ライトボタンを押すと電池を多く消耗します。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
- ショート、分解、加熱、火の中へ投下しないでください。
- 長時間ご使用にならないときは、リモコンから電池を取り出しておいてください。



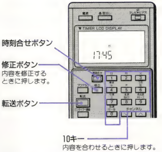
時計の合わせかた

本機の電源プラグをご家庭の電源コンセントに接続したとき、時計表示(本体)が"0:00"で点滅する場合は、現在時刻に合わせてください。現在時刻が合っていないと、電話録画予約やワンタッチタイマー録画、タイマー録画のとき正しい時間に録画ができません。時刻合わせは、システムリモコンに内蔵している時計から転送することができます。

システムリモコンでの合わせかた

本機のシステムリモコンには時計が内蔵されています。リモコンにバッテリーを入れたら、まずこの時計を現在の時刻に合わせてください。時計を合わせたら、ビデオデッキ本体に向かって転送ボタンを押すと「ピッ」と音がして本体の時計の時刻も自動的に調整されます。

たとえば、水曜日の午後5時45分(17：45)に合わせる場合。



合わせ間違えたときは

修正ボタンを押すごとに点滅表示が逆戻りするので、もう一度合わせ直してください。
転送後修正する場合は、最初から合わせ直して改めて転送してください。

ご注意

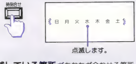
- 転送は、30秒以内に行なってください。越えた場合は、内容が取り消されますので、そのときはもう一度合わせ直してください。

❶ システム切換スイッチを"テレビ"か"ビデオ"にします。



❷ 時刻合せボタンを押します。

「曜日」が全部表示されます。



点滅している箇所 があなたが合わせる箇所です。



❸ 「曜日」を合わせます。

10キーの 4 ボタンを押して"水"にします。

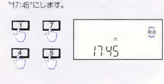


これで時刻合わせは終りです。

システム切換スイッチを"切"にしても、時計は作動します。

4 点滅する順に従い時間と分を合わせます。

10キーの[1][7]、[4][5]ボタンを押して"17:45"にします。



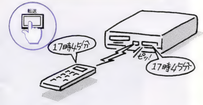
5 時報などに合わせて"転送"ボタンを押します。

システムリモコンはビデオデッキ本体に向けてください。

現在時刻が本体へ送られますので、ビデオデッキと常に時刻を合わせておくことができます。

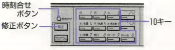
転送ボタンを押したとき、ビデオデッキの電子音が鳴って正しく受けたことを知らせます。

ビデオデッキ本体へ転送するときは50cm以上離してください。それより近すぎると転送されない場合があります。（電子音が鳴りません。）



本体での合わせかた

時刻合わせで使う各ボタンは、システムリモコンで操作するときと同じです。転送の機能を除けば、システムリモコンでの時刻合わせと同じ操作手順で行なえます。



たとえば、水曜日の午後5時45分（17:45）に合わせる場合。

1 時刻合せボタンを押して"0:00"の点滅を止めます。

曜日のみが点滅します。



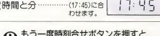
点滅している箇所がこれからあなたが内容を合わせる箇所です。

2 10キーで時刻を合わせます。

点滅箇所		合わせる内容
1 曜日	"水"に合わせます。	水
2 時間と分	午後5時45分（17:45）に合わせます。	17:45

3 もう一度時刻合せボタンを押すと同時に時計がスタートします。

正確に合わせるときは、電話などの時報を利用してください。



合わせ間違えたときは

修正ボタンを押すごとに点滅表示が逆戻りするので、もう一度合わせ直してください。

- 点滅が逆戻りすると、戻した項目はすべて取り消されますので、取り消された項目は再設定してください。

本機は、約10分間の停電補償機能があります。停電復帰後、"0:00"が点滅しているときは、現在時刻を合わせ直してください。



電話予約録画のしかた

外出先から電話で予約録画ができる電話予約録画システムを搭載。見たい番組を電話で予約すれば、ご希望の時間に録画を開始する便利な機構です。

ご使用前の準備

- 暗証番号のセット
- 応答回数の切り換え
- 外出/在宅の切り換え
- ホールドボタンについて



暗証番号のセット

いたずら電話などによる動作を防ぐために暗証番号をセットします。暗証番号は4桁で、ご希望の番号を10キーで入力します。



外出/在宅の切り換え

外出モードと在宅モードの切り換えは、"ABSENCE"ボタンで行ないます。

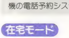
外出モード



"ABSENCE"ボタンを押してランプを点灯させます。
これで外出先から電話予約ができる状態になります。

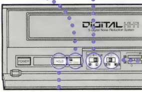
外出中に電話がかかってくると
外出モード("ABSENCE"ボタン点灯)のとき、電話の呼び出し音が3回、または7回鳴ると、本機の電話予約システムが応答します。(☞P25)

在宅モード



"ABSENCE"ボタンを押してランプを消します。
在宅モードになり、電話機は通常に使用できます。

在宅モードのとき、電話の呼び出し音が15回鳴ると、本機の電話予約システムが応答します。
外出モードにするのを忘れたとき、外出先から予約録画をしたい場合は、呼び出し音が15回鳴るまで待ってください。





HOLDボタンについて

在宅者がいて受話器をとったとき。 ➡ 在宅者に、HOLDボタンを押してから受話器をおいてもらう。

外出モード、在宅モードにかかわらず、HOLDボタンを押すと自動的に電話予約システムに切り換わります。

(ホールドボタンを押すと受話器をはずした状態と同じになります。)

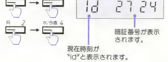
●暗証番号登録はパワーボタンがOFFの状態で行ないます。

❶ 暗証番号登録スイッチを"入"にします。



❷ 本体の10キーで暗証番号を入力します。

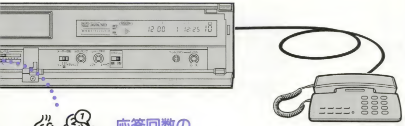
たとえば、"2724"にする場合は、"2"→"7"→"2"→"4"の順に押します。



❸ 暗証番号登録スイッチを"切"にします。

これで暗証番号の登録は終了です。

- 変更するときは、同様の操作で最初から合わせ直してください。





応答回数の切り換え

呼出しボタンで、外出モードのときに応答するまでの呼び出し回数を切り換えます。



3回で応答します。　7回で応答します。

電話予約システムの応答回数

ABSENCEボタン（外出/在宅の切り換え）	呼出しボタン（呼び出し回数の切り換え）	電話予約システムの応答回数
在宅モード	—	15回
外出モード	3	3回
	7	7回

電話予約録画のしかた

電話予約の基本操作

電話予約は必ずプッシュホンで――
ダイヤル式電話機では、電話予約はできません。

参考例

午後9時00分(21:00)から2時間10分、8チャンネルを録画するとき。(暗証番号は2724)



メッセージ

呼び出し音(3回、または7回)のあとメッセージが出ます。

ただいま外出中です。 → 暗証番号をどうぞ。

約7秒間

電話予約モードになり、ビデオの現在状態を示すメッセージが出ます。

ビデオ予約。 → 予約可能のとき。何時何分から録画しますか

1 自宅に電話をかけます。



暗証番号

2 暗証番号(4桁)と"#"ボタンを押します。

2 7 2 4 と # ボタンを押します。

2 7 2 4 → #

開始時刻

3 開始時間と"#"ボタンを押します。

2 1 0 0 と # ボタンを押します。

2 1 0 0 → #

- 開始時間は24時間制です。0時00分から23時59分の間でセットできます。
- 4ケタで入力します。

ビデオデッキの現在状態を示すメッセージには、次の種類があります。

ビデオデッキの現在状態	メッセージ
■予約可能のとき	何時何分から録画しますか。
■ビデオカセットが入っていない	テープがありません。
■ビデオカセットのツメが折れている	ツメ折れです。
■再生、早送り、ピクチャーサーチ(ジェットサーチ)、一時停止のとき	使用中です。
■巻戻し中のとき	ただいま、巻戻し中です。
■家の人が通常録画しているとき	ただいま、録画中です。
■電話予約(ワンタッチタイマー)録画予約中	ただいま、△△時△△分から△△時間△△分、△△チャンネルが予約されています。
■電話予約(ワンタッチタイマー)録画中	ただいま、△△チャンネルをワンタッチ録画中です。
■タイマー録画予約待機中	タイマー録画スタンバイ中です。
■タイマー録画中	ただいま、タイマー録画中です。

- ビデオデッキの現在状態は、"✱"ボタンを押せばいつでも確認できます。

電話予約録画のしかた

次のメッセージが出ます。

何時間何分
録画しますか。

録画時間

❹ 録画時間と"#"ボタンを押します。

0 2 1 0 と # ボタンを押します。

0 2 1 0 → #

- たとえば1時間のときは、0 1 0 0 と押します。
- 6時間以内です。

次のメッセージが出ます。

何チャンネル
ですか。

録画チャンネル

❺ 録画するチャンネル番号と"#"ボタンを押します。

0 8 と # ボタンを押します。

0 8 → #

- チャンネル番号が1～9のときは必ず2桁押します。
(例)1チャンネルのとき……0 1

予約した内容をメッセージします。

21時0分から
2時間10分
8チャンネルを録画
します。

予約内容に間違いがなければ

❻ 電話を切ります。



これで予約完了です。

「予約可能なとき」以外の表の現在状態に対応する操作は、「電話予約といろいろな操作・早わかり」(☞P27)を参照ください。

ご注意

- 各メッセージは、5秒間隔で3回繰り返します。この間に3回ボタン操作を間違えたり、何も押さない場合は電話が切れます。
- 電話で入力するときは、必ずメッセージが終ってから行なってください。メッセージの最中に入力すると無効になる場合があります。
- 入力するときは、ボタンをゆっくりと確実に押してください。

誤ってボタンを押したときは

①"#"ボタンを押す前なら――

何回でも修正できます。正しい番号のボタンを押し直してください。

②"#"ボタンを押したあとは――

間違いに気づいたときや、内容を変える場合は、"✱" ボタンを押します。"ビデオ予約"のメッセージが出ますので、もう一度設定し直してください。

✱ボタンについて

"✱"ボタンを押すと、その時点から"ビデオ予約"のメッセージを3回繰り返します。(何回でも繰り返し可能です。)

外出先からの電話予約

1 電話をかける

ピンポン

ただいま外出中です。
暗証番号をどうぞ

2 暗証番号と"#"を押す。

ビデオ予約

現在状態

（予約録画可能なとき）

何時何分から録画しますか

3 4ケタで入力、"#"を押す

何時間何分録画しますか。

4 4ケタで入力、"#"を押す。

何チャンネルですか。

5 2ケタで入力、"#"を押す。

△△時△△分から
△△時間△△分
△△チャンネルを
録画します。

これで予約完了。電話を切ります。

O
ない
テー
ありま

その他の操作

（巻戻しをするとき）

テープ巻戻しコール

7 3 # 押す。

巻戻します。

5分程後にもう一度電話します。

（タイマーのセットを忘れて出かけたとき）
（☞P30）

タイマー予約スタンバイコール

7 5 # 押す。

タイマー録画を設定します。

* 押す。

（今すぐ録画するとき）

チャンネル変更コール

7 8 # 押す。

何チャンネルを設定しますか。

希望のチャンネルを□□#押す
2ケタで入力

△△チャンネルを設定します。

すぐ録画コール

* 7 0 # 押す。

録画します。
ただいま△△チャンネルをワンタッチ録画中です。

電話予約といろいろな操作

早わかり

いろいろな操作

暗証
それ

すぐ録画コール	
録画延長コール	
電話予約取り消しコール	
タイマー予約スタンバイコール	
タイマースタンバイ解除コール	
タイマー予約確認コール	緑
テープ巻戻しコール	
テープ停止コール	
録画モード設定コール	
シャットオフコール	

とき
ープが
ません。

ツメ折れ
（誤消去防止ツメ ☞P7）
ツメ折れです。

家の人が ▶
再生など使用中
使用中です。
（あきらめる）
または、後で電話する。

家の人が ◀◀
巻戻し中
ただいま
巻戻し中です。
（電話予約録画を優先させる。）
テープ停止コール
7 6 # 押す。
停止します。
✱押す。

家の人が ●
録画中
ただいま
録画中です。
（録画を延長する。）
録画延長コール
7 1 # 押す。
今から何時間何分
録画しますか。
時間指定コール
録画時間
□□□□#
4ケタ入力
（6時間以内）
今から△△時間△△
分△△チャンネル
を録画します。

電話

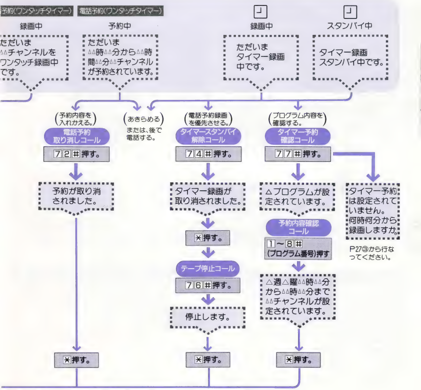
録画モードの設定は、予約操作の前後、録画中、または電話予約スタンバイ中に設定できます。
録画モード設定コール
7 9 # 押す。
何倍速
録画ですか。
標準、3倍指定コール
1 #（標準）または
3 #（3倍）
を押す。

●いろいろな操作をしたあと、新たにビ
“ビデオ予約”のメッセージが出てから

証番号入力のあと、ビデオの現在状態のメッセージが出たらゆっくりと該当のボタンを押してください。
れぞれの操作と操作の間には、必ず"＊"ボタンを押してから次の入力を行なってください。

7 8 #	チャンネル切換を命令します。
C H #	希望の録画チャンネルを入力します。(2ケタ入力)
7 0 #	テープの終りまで録画をすぐに開始します。 ＊を押してから入力。
7 1 #	録画(通常録画、ワンタッチタイマー)時間を最大6時間まで延長します。(録画中のみ延長可能)
7 2 #	電話予約の内容の取り消しをします。
7 5 #	タイマー予約スタンバイにします。(┘マークを点灯します)
7 4 #	現在スタンバイ中のタイマー予約を解除します。(┘マークを消灯します) ただし、予約内容は解除されません。
7 7 #	タイマー予約中のプログラム番号を確認します。
続けて 1 ～ 8 #	予約プログラムの内容の確認をします。
7 3 #	テープの巻戻しをします。
7 6 #	通常録画中(ワンタッチ、タイマー録画中も同様)、および巻戻し中のテープを停止します。
7 9 #	録画モードを設定します。標準は 1 #、3倍は 3 # で入力します。
9 9 #	電話を切ります。＊を押して入力します。

- テープ停止中であってもテープが入っていれば、7 6 # を押すとビデオデッキの電源を切ることができます。
- 予約した後、受話器を置いても受信側の電話は最大30秒間使用中の状態が続きます。
＊ 9 9 # を押すと受信側(ビデオデッキ側)を切った状態にします。



テオ予約するときは、"＊"ボタンを押し、
行なってください。

今すぐ録画したいときは
今すぐ録画コール

見たい番組がもうすぐ始まる……
番組は、始まってしまったけれど、残りは録画したい…
など、こんなときに便利です。

暗証番号を入力して

メッセージ
「ビデオ予約」のメッセージが出たあと

チャンネル変更コール
❶ "[7][8][#]"を押します。

次のメッセージが出ます。「何チャンネルを録画しますか。」

チャンネル入力
❷ 希望のチャンネルを入力します。

(例) 8チャンネル
[0][8][#]を押します。
●チャンネルは2ケタで入力します。

次のメッセージが出ます。「8チャンネルを設定します。」

すぐ録画コール
❸ "[※][7][0][#]"を押します。

次のメッセージが出ます。「録画します。ただいま8チャンネルをワンタッチ録画中です。」

電話を切ります。

ビデオデッキは、テープ終了まで録画して電源が切れます。

●「すぐ録画コール」の場合は、必ず事前に「チャンネル変更コール」をしてください。

録画時間を延長したいときは
録画延長コール

今、録画中の番組をもっと延長させて録画したい……
こんなときにご利用ください。(録画延長コールは、録画中のみ延長できます。)

暗証番号を入力して

メッセージ
「録画中」「ワンタッチ録画中」「ターマー録画中」のメッセージが出たあと

録画延長コール
❶ "[7][1][#]"を押します。

次のメッセージが出ます。「今から何時間何分録画しますか。」

延長時間入力
❷ 希望の時間を4ケタで入力します。

(例) 1時間10分
[0][1][1][0][#]を押します。

次のメッセージが出ます。「今から1時間10分△△チャンネルを録画します。」

電話を切ります。

録画モード(標準、3倍)を設定するときは

録画モードは、入力をする前の状態になっています。予約操作の前後、録画中、または電話予約スタンバイ中に設定することができます。
"[※]"ボタンを押して現在状態のメッセージののち、
① **録画モード変更コール"[7][9][#]"を押します。**
"何倍速録画ですか"のメッセージが出たあと
② **希望のボタンを押します。**
標準モードは……[1][#]
3倍モードは……[3][#]
これで録画モードの設定は終りです。引き続きご希望の入力を行なってください。

タイマーのセットを忘れたときは

タイマーの予約はしたけれど、スタンバイ状態([⏻]マークを点灯させる)にするのを忘れて外出してしまった。このときは"タイマー予約スタンバイコール"をご利用ください。
"**ビデオ予約**"のメッセージが出たあと
タイマー予約スタンバイコール"[7][5][#]"を押します。
これで予約スタンバイ状態([⏻]マークが点灯)になりました。
電話をお切りください。



ワンタッチタイマー録画

ワンタッチタイマーを利用すると、手軽にタイマー録画ができます。

開始時間を指定して録画するとき

こんなときに便利です。
①深夜番組を録画するとき。
②ふつうのタイマー録画のかわりに使うとき。
③急にお出掛けになるとき。

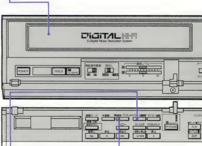
1分単位で開始時間、録画時間を合わすことができます。

開始時刻は15分単位で合わせたあと、録画時間は30分単位で合わせたあと、ビデオデッキ本体または、リモコンの10キーで希望の時間に合わせます。

❶ ツメの折れていないビデオカセットを入れます。

カセットが入っているときは、電源ボタンを押してください。

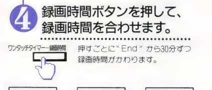




❹ 録画時間ボタンを押して、録画時間を合わせます。

ワンタッチタイマー録画時間

押すごとに"End"から30分ずつ録画時間がかわります。



● -H - -M の状態で8秒間放置すると、ワンタッチタイマーは解除されます。

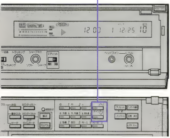
これで終りです。
テレビの電源を切っておでかけ、
またはおやすみください。

時間設定8秒後に電源が切れ、指定した時刻になると録画が始まります。このとき表示窓が次のように変わります。

② 録画するチャンネルに合わせます。

チャンネルボタンを押します。





今すぐ録画するときは
ステップ③の操作を飛ばして
④の操作を行なってください。

③ 開始時刻ボタンを押して、開始時間を合わせます。



押すごとに、15分ずつ開始時間がかわりますので、希望の開始時間を合わせます。

14:15 → 14:30 → 14:45

開始時間は24時間以内まで合わせられます。

- 開始時間を変更するときは、８秒間そのまま放置して、現在時刻にしてからもう一度指定しなおしてください。

解除のしかた

２通りの方法があります。

①**録画ボタンを押します。**
通常の録画になります。
録画をやめるときは、停止ボタンを押します。

② **電源ボタンを押します。**
録画が止まり、電源が切れます。

エラー表示が出たときは

ツメ折れのビデオカセットが入っていると、録画ボタンを押したとき、カセットが自動的に出てきます。このとき、リアルタイムカウンターに"Error"表示が点滅します。



通常録画中ワンタッチタイマーに、切り換えるときは

通常録画中、開始時刻ボタンを押せばワンタッチタイマーに切り換わります。

ご注意

- ワンタッチタイマー録画中、電源を抜いたり、停電して復帰したときは、電源が切れた状態になります。
- ワンタッチタイマー録画中は、タイマー予約録画の開始時刻がきてもワンタッチタイマー録画が優先されます。プログラムの実行はされません。
- ワンタッチタイマー録画中、録画時間を変更するときは、録画時間ボタンを押してその時からの録画時間を指定してください。
- ワンタッチタイマー録画待機中(開始時刻指定の場合)、電源を入れるとワンタッチタイマー録画の設定は解除されています。
- ワンタッチタイマー録画中は停止ボタン、一時停止/静止画ボタンは働らきません。



タイマー(予約)録画

見たい番組が外出などで見られない……。こんなときは録画予約をしましょう。予約した時刻になると、自動的に録画を開始します。特に本機は、システムリモコンで録画予約ができ、その予約内容をビデオデッキ本体に転送することができます。

システムリモコンで予約

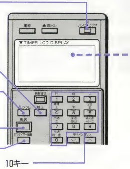
本機のシステムリモコンは、リモコン単独で予約プログラムを組んだあと、ビデオデッキ本体に転送する方式ですので、本体から離れた場所で予約プログラムを組むことができます。本体に転送するときに、リモコン内蔵時計の現在時刻の情報も同時に転送しますので、リモコン使用前に、必ず現在時刻を合わせておいてください。(☛ P21)

タイマー予約中は、電源が切れています。ビデオを操作するときは、ビデオデッキ本体、またはシステムリモコンのタイマー録画ボタンを押して ⏲ マークを消してお使いください。操作後、再びタイマー予約状態にするには、タイマー録画ボタンを押してください。(⏲ マーク点灯)

準 備

1 ツメの折れていないビデオカセットを入れます。
2 入力切換ボタンを押して"テレビ"モードにします。
3 リモコンの現在時刻が合っていることを確かめます。

たとえば今日が水曜日で、プログラム番号2に来週の金曜日の午後7時15分(19:15)から午後8時55分(20:55)まで、6チャンネルを標準モードで録画する場合。



システム切換スイッチ
"ビデオ"にします。LCD(液晶)表示窓に現在時刻が出ます。

修正ボタン
内容を修正するときに押します。

プログラムボタン
押すと表示窓が予約表示になります。

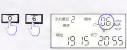
転送ボタン

タイマー録画ボタン
タイマー予約待機状態にしたり解除するボタンです。

10キー
予約内容を合わせるときに押します。

⑧ 「チャンネル」を合わせます。

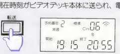
10キーの 0 6 ボタンを押します。



これでリモコン内での1つの録画予約が組めました。

⑨ 「転送」ボタンを押します。

システムリモコンはビデオデッキ本体のリモコン受光窓に向けます。予約内容と現在時刻がビデオデッキ本体に送られ、電子音が受信したことを知らせます。



さらにいくつかの番組を予約するときはステップ1から9までの操作をします。

ビデオデッキ本体へ転送するときは50cm以上離してください。それより近すぎると転送されない場合があります。(電子音が鳴りません。)

⑩ タイマー録画ボタンを押します。

ビデオデッキ本体の表示窓に"⏲"マークが点灯し、ビデオの電源が切れます。



プログラムボタンを押して現在時刻に戻してからタイマー録画ボタンを押してください。
現在時刻モードにしないと、タイマー予約以外のリモコン操作ができません。

これで予約が終りました。
開始時刻になると自動的に録画が始まります。

■タイマー録画の予約は、プログラムボタンを押してから点滅する順序に従って

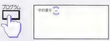
予約番号 → 標準か3倍か → 何週目か → 曜日 → 開始時刻 → 終了時刻 → チャンネル

をセットします。セットしたあとは、必ず時計合わせ同様、本体に転送してください。

操作 **点滅している箇所**が、これからあなたが合わせる箇所です。

1 プログラムボタンを押します。

"ー"が点滅します。



2 「プログラム番号」を合わせます。

10キーの 2 ボタンを押して"2"にします。



3 「録画モード」を合わせます。

"標準"は 1 のボタンです。1 を押して"標準"にします。



4 「週」を合わせます。

来週は 5 のボタンです。5 を押して来週にします。



■毎週録画のときは

"毎週"は 7 のボタンです。7 を押して"毎週"にします。

5 「曜日」を合わせます。

"金"は 6 のボタンです。6 を押して"金"にします。



■毎日録画のときは

10キーの 8 のボタンが"毎日"です。

■ウィークデー録画「月～金」のときは

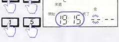
10キーの 9 のボタンが"月～金"です。

■ウィークデー録画「月～土」のときは

10キーの 0 のボタンが"月～土"です。

6 開始時刻を合わせます。

10キーの 1 9、1 5 ボタンを押して"19:15"にします。

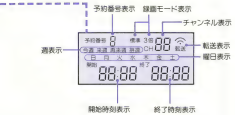


7 終了時刻を合わせます。

ステップ6と同様に"20:55"にします。



LCD表示窓



タイマー録画

予約操作中に内容修正するとき

修正ボタンを利用します。押すごとに点滅表示が逆戻りするので修正したい場所を点滅させ、内容をかえます。

- 点滅が逆戻りすると、戻した項目はすべて取り消されますので、取り消された項目を再設定してください。

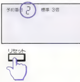
予約内容の変更

■転送後の予約内容の変更

同じプログラム番号に、変更後のプログラムを組んで転送し直します。

■転送後の取り消し

プログラム番号だけ合わせ、システムリモコンをビデオデッキ本体のリモコン受光窓に向け、システムリモコンのリセットボタンを押してください。電子音が受信したことを知らせます。



ご注意

- 既に予約されているプログラム番号で予約し転送すると予約内容が入れ替り、前のプログラムは消えてしまいます。
- 予約操作が30秒間中断すると、現在時刻に戻ります。このときは、最初からもう一度合わせ直してください。
- 予約操作中、プログラムボタンを押すと内容が取り消されます。
- 毎日録画、ウィークデー録画をするときは、毎週録画以外の今週、来週、再来週のいずれかを選んでください。
- コンパートモードのとき、1～12CH以外でプログラムを組むと、エラーとなり電子音が鳴っても転送を受け付けません。(☛ P50)
- セグメント録画中やタイマー録画中およびそれぞれの録画待機中は電子音が鳴っても転送を受け付けません。
- リモコンとビデオデッキ本体の間に遮閉物があると、転送ができません。このときは電子音もしません。

ビデオデッキ

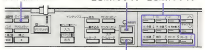
システムリモコンでのタイマー予約と同じ手順で本体の各ボタンを操作します。

たとえば今日が水曜日で、プログラム番号2に来週の金曜日の午後7時15分(19:15)から午後8時55分(20:55)まで、6チャンネルを標準モードで録画する場合。

タイマー録画ボタン
タイマー予約待機状態にしたり、解除するボタンです。

修正ボタン
内容を修正するときに押します。

10キー
予約内容を合わせるときに押します。



プログラムボタン
押すと表示窓が予約表示になります。

これで1つの録画予約ができました。
さらに別の予約をするときは、他のプログラム番号に合わせて同様の操作をします。

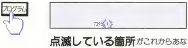
タイマー予約中は、電源が切れています。ビデオを操作するときは、タイマー録画ボタンを押して ⏲ マークを消してお使いください。操作後、再びタイマー録画を続けるときは、必ずタイマー録画ボタンを押してください。(⏲ マーク点灯)

これで予約が終りました。
開始時刻になると自動的に録画が始まります。

本体で予約

❶ プログラムボタンを押して、表示窓を予約表示にします。

プログラム"1"が点滅します。



点滅している箇所がこれからあなたが内容を合わせる箇所です。

❷ 10キーで予約内容を合わせます。

点滅箇所	合わせる内容	
1 プログラム番号	"2"に合わせます。	プログラム 2
2 録画モード	"標準"に合わせます。	標準
3 週	"来週"に合わせます。	来週
4 曜日	"金"曜日に合わせます。	金
5 開始時刻	午後7時15分("19:15")に合わせます。	開始 19:15
6 終了時刻	午後8時55分("20:55")に合わせます。	終了 20:55
7 録画チャンネル	"6"チャンネルに合わせます。	6

■毎週のときは、"毎週"を表示させます。

■「毎日」のときは、"毎日"を表示させます。
■ウィークデー録画「月～土」のときは、"月～土"を表示させます。
■ウィークデー録画「月～金」のときは、"月～金"と表示させます。

❸ プログラムボタンを押して現在時刻にします。

❹ タイマー録画ボタンを押して"⏲"マークを点灯させます。

電源が切れて予約待機状態になります。これで予約が終りました。予約時刻になると自動的に録画が始まります。

タイマー録画の種類

①今日から3週間先まで予約できます。
②8つの番組まで予約できます。
③毎日録画の予約。
④ウィークデー録画の予約。
　月～金の毎日録画。月～土の毎日録画。
⑤毎週録画の予約。

最大録画予約について

最大3週間先(開始時刻)までのタイマー予約ができます。最大3週間とはきょうから再来週の土曜日までを言います。
例えば、今日が12日の金曜日とすると、27日の土曜日までタイマー予約できます。

日	月	火	水	木	金	土	
	1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13	今週
14	15	16	17	18	19	20	来週
21	22	23	24	25	26	27	再来週
28	29	30	31				

エラー表示が出たときは

Er ror

①カセットが入っていない
　→カセットを入れる
②カセットのツメが折れている
　→セロハンテープを貼るかツメの折れていないカセットを使う。
③タイマー予約が正しく設定されていない
　→設定をやりなおす

タイマー録画

予約内容の確認

確認のときは、⊡マークが点灯したままで行なえます。

1 プログラムボタンを押して予約表示にします。

2 チャンネルボタンを押して目的のプログラムを出します。

19:15 20:55 6

3 予約内容を確認します。

予約内容の取り消しと変更

取り消し、変更のときはタイマー録画ボタンを押して⊡マークを消します。

1 プログラムボタンを押して予約表示にします。

2 チャンネルボタンを押して目的のプログラムを出します。

19:15 20:55 6

内容の取り消し

3 カウンターリセット(クリア)ボタンを押すと予約した内容が取り消されます。

内容の変更

3 修正ボタンを押して変更したい場所を点滅させます。

修正ボタンは、押すごとに点滅表示が逆戻りします。

●点滅が逆戻りすると、戻した項目はすべて取り消されますので、取り消された項目は再設定してください。

4 10キーで内容を変更します。

プログラムボタンを押して現在時刻にします。

予約内容の確認、取り消し、変更のあと再びタイマー予約状態にするときは、タイマー録画ボタンを押します。

タイマー(予約)録画　こういう場合は?

- 毎日録画、ウィークデー録画、毎週録画は、予約内容を取り消さない限り、⊡マークが点灯していれば続けて録画を繰り返します。
- タイマー録画を中止するときは、タイマー録画ボタンを押して、⊡マークを消した後、停止ボタンを押します。
- タイマー録画中にテープが終りになると、自動的に電源が切れます。
- タイマー録画中にワンタッチタイマー録画時間ボタンを押すと(リモコンも同様)、タイマー録画は解除され、ワンタッチタイマー録画になります。
- ワンタッチタイマー録画中でもタイマー予約をすることができます。予約セット後、タイマー録画ボタンを押して⊡マークを表示させます。ワンタッチタイマー録画終了後、電源が切れてタイマー予約状態になります。



ご注意

- 電源プラグを抜いた状態、および停電が10分以上続くと予約内容や現在時刻がキャンセルされてしまいます。設定し直してください。
- タイマー録画中に停電したとき、復帰後は電源が切れた状態になります。

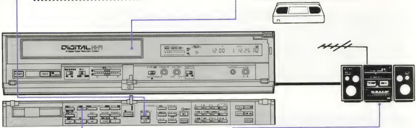


オーディオデッキとしての使いかた

外部のオーディオシステムを利用すると、FM放送のエアチェックなど長時間のHi-Fiオーディオとしても使用できます。

❶ 入力切換ボタンを"ライン"にします。

❷ ツメの折れていないビデオカセットを入れます。



❹ 録画ボタンを押します。

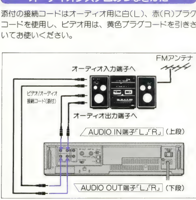
録音が始まります。録音レベルの調節は、39ページを参照してください。

❸ オーディオシステムの準備をします。

FMチューナで選局します。

オーディオシステムのつなぎかた

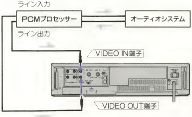
添付の接続コードはオーディオ用に白(L)、赤(R)プラグコードを使用し、ビデオ用は、黄色プラグコードを引きさいてお使いください。



■PCMプロセッサーによる録音、再生

PCMプロセッサーを使うとオーディオ信号のデジタル録音、再生ができます。このときは、本機のVIDEO IN/OUT端子を使います。(IN 上段、OUT 下段) なお入力切換ボタンは"ライン"側にします。

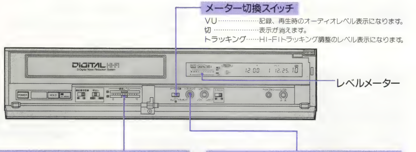
- PCM音声記録テープを再生するときは、デジタルNRボタンを"切"にし、エディットスイッチを"入"にしてください。





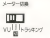
Hi-Fi音声の調整

Hi-Fi音声の録音レベルやHi-Fiトラッキングを調整することができ、調整状態をレベルメーターで確認します。



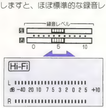
Hi-Fi音声録音レベルの調整

❶ メーター切換スイッチを"VU"にします。



❷ 録音レベルつまみで調整します。

"左"、"右"のつまみを左右へスライドさせ、最大音量のときピークが+5dBになるようにします。中央の"カチッ"と止まる位置にしますと、ほぼ標準的な録音レベルが得られます。



ご注意

- 本機をテレビ受信機としてご使用中、録音レベルつまみを最小へスライドさせると音が出ません。

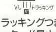
Hi-Fiトラッキング

記録済のテープや他のHi-Fiビデオで記録したテープを再生したとき、Hi-Fi音声にノイズがあってきれいに聞こえないときは、Hi-Fiトラッキングを調整してください。

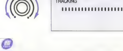
❶ テープを再生します。

❷ メーター切換スイッチを"トラッキング"にします。

"左"側がトラッキングメーターとなり、"右"側メーターは消えます。



❸ トラッキングつまみを回して、レベルメーターが最大になるように調整します。



ご注意

- Hi-Fi録音されていないテープを再生したとき、レベルメーターによるトラッキング調整はできません。
- 古いテープや使用頻度の多いテープ、また他のビデオで記録されたテープを再生したとき、メーターの振れが弱いことがあります。



リアルタイムカウンターの利用

リアルタイムカウンターは、テープの走行時間を秒単位で正確に表示しますので、上手に使うと録画場面を早くさがすことができます。

カウンターのリセット

カウンターリセットボタンを押すとカウンターが〝0H00M00s″表示になります。



カウンターメモリーについて

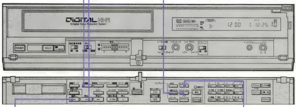
録画や再生をしながらカウンター表示をメモしておくと、あとで見たい場面を早くさがすときに便利です。

1 録画、または再生をします。

2 あとで見たい場面でカウンターリセットボタンを押します。

リアルタイムカウンターが〝0H00M00s″になります。





3 カウンターメモリーボタンを押します。

表示窓にメモリーマーク〝M″が点灯します。





録画、または再生が終ったら

4 停止ボタンで停止したのち巻戻しボタンを押します。

〝0H00M00s″付近で自動的に停止します。



早送りで〝0H00M00s″になったときも自動停止します。

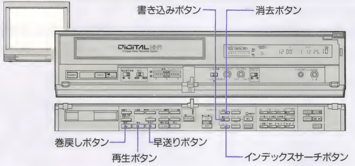
ご注意

- カウンターメモリーを解除するときは、再度カウンターメモリーボタンを押して M マークを消します。
- カウンターメモリーは、ピクチャーサーチ(またはジェットサーチ)のときは停止しません。
- リアルタイムカウンターは、録画中にテープ上に記録されるコントロール信号を検出して動作しますので、録画されていないテープで録画以外の操作をしてもカウンターは働きません。
- テープの走行状態により、カウンターにわずかのズレが出ることがあります。

自動頭出し再生(VISS)



本機で録画したテープには、録画スタートのとき自動的にインデックス信号が記録されます。この信号を利用して、見たい番組を簡単にさがすことができます。頭出しには2つの方法があります。



インデックススキャン

各番組の頭の部分(インデックス信号が記録されている)を、約6秒間ずつ次々と再生しながら見たい番組をさがします。

1 インデックス信号が打ち込まれた録画済ビデオカセットを入れます。

再生中の場合は停止ボタンを押して停止させます。

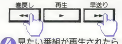
2 インデックスサーチボタンを1回押します。

INDEX の表示が点灯し、カウンターに"SCAN"が表示され点滅します。



3 巻戻し、または早送りボタンを押します。

番組の頭までテープが送られると、自動的に約6秒間再生し、再び次の番組まで巻戻しか早送りを繰り返します。



4 見たい番組が再生されたら再生ボタンを押します。

再生が始まり、通常のカウンター表示に戻ります。

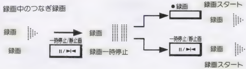


カウンター表示に戻る

■インデックス信号の記録

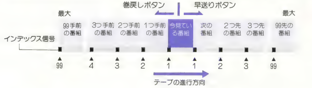
信号は、録画ボタンを押したときに自動的にテープに記録します。また録画中でも、録画ボタンを押すと信号が記録されます。

●ワンタッチタイマー録画、タイマー録画のときも、録画開始時に記録します。



インデックスサーチ

番組を指定して早送り、巻戻しすることによって指定したインデックス信号のところから頭出しすることができます。音楽番組などのときに便利です。
インデックス信号は番組の頭に記録されますので、今見ている番組より手前の番組を見るときは、今見ている番組を"1"とします。



❶ 録画されたビデオカセットを入れます。

再生中の場合は停止ボタンを押して停止させます。

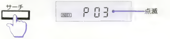
❷ インデックスサーチボタンを2回押します。

"INDEX"の表示が点灯し、カウンターが指定番号を表示します。



❸ 繰り返しインデックスサーチボタンを押して、見たい番組の番号を出します。

たとえば、3つ先の番組、または2つ手前の番組を見たいときは"P-03"にします。番号は最大99まで指定できます。
本体、またはシステムリモコンの10キーを利用すると、ダイレクトにインデックス番号を指定できます。
また、本体やリモコンのチャンネルボタンを使うと、インデックス番号をひとつずつ増減させることができます。



信号が記録されます。

信号は記録されません。

静止画再生からのつなぎ録画のときも同様に、録画ボタンで録画スタートしたときは信号が記録され、一時停止/静止画ボタンで録画スタートしたときは記録されません。

❹ 巻戻し、または早送りボタンを押します。

インデックス信号を検出するごとに指定番号が減り、"0"になると自動的に再生します。再生が始まると通常のカウンターに戻ります。



ご注意

- インデックス信号は、標準モード時2分、3倍モード時3分以上の間隔をあけて記録してください。それより短いとインデックススキャン、インデックスサーチのとき、信号を拾わないことがあります。
- 再生、ピクチャーサーチ、ジェットサーチなど動作中は働きません。必ず停止状態にしてから行なってください。

自動頭出し再生(VISS)

インデックス信号を新たに記録する場合

インデックス信号は、録画スタート時に自動的に記録されますが、任意の場所に新ためて記録することができます。この場合は、インデックス書き込みボタンを利用します。

1 録画、または再生します。

2 ご希望の場所で書き込みボタンを押します。

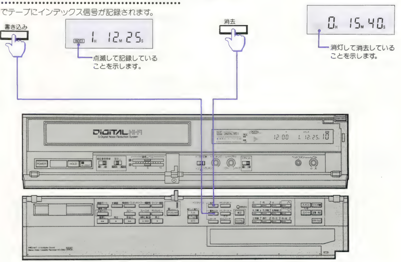
これでテープにインデックス信号が記録されます。

インデックス信号を取り消す場合

1 取り消したい信号(番組の頭)の少し手前までテープを送ります。

2 再生をし、取り消したい信号の位置を過ぎるまで消去ボタンを押します。

テープに記録されたインデックス信号を読み取り、自動的に消去します。



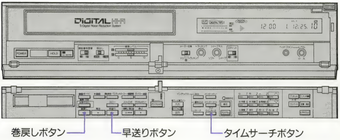
ご注意

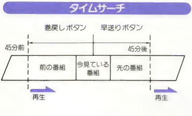
- 他のビデオデッキで録画したテープにインデックス信号の記録や消去をすると、その部分で画像が乱れたり、頭出しができないことがあります。
- 再生中、インデックス信号を記録(または消去)する場合、インデックス信号を記録(または消去)しているあいだ、ノーマル音声は出ません。
- 録画モードを途中で切り換えて録画したテープの場合、テープスピードが切り換わる部分でインデックス信号を記録しないでください。その部分で再生画像が乱れたり、頭出しができないことがあります。



タイムサーチ

現在の場所からの時間を指定し、巻戻し、または早送りすることにより、見たい場所や番組を自動再生させることができます。



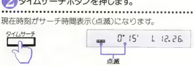


❶ 録画されたビデオカセットを入れます。

再生中の場合は停止ボタンを押して停止させます。

❷ タイムサーチボタンを押します。

現在時刻がサーチ時間表示(点滅)になります。



❸ サーチ時間を指定します。

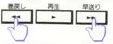
タイムサーチボタンを押すごとに、15分単位で指定できます。
例……45分を指定する場合



1分単位の指定もできます。
チャンネルボタンを利用すると、1分単位でサーチ時間を指定できます。
また10キーを利用するとダイレクトに、しかも1分単位でサーチ時間を指定できます。

❹ 巻戻し、または早送りボタンを押します。

テープが送られ、タイムサーチが作動します。



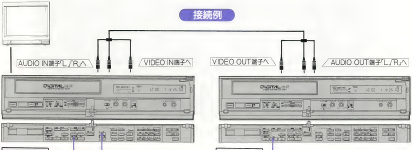
サーチ時間表示が減算され、指定時間になると、自動的に再生が始まります。サーチ時間表示は現在時刻に戻り、カウンターは、そのままテープの走行時間を表示します。





テープコピーについて

ビデオデッキを2台使うとテープコピーができます。またテレビを接続すればテレビ画面を見ながらコピーできます。



1 録画側ビデオの入力切換ボタンを"ライン入力"にします。

2 録画側ビデオを録画一時停止にします。

3 再生側ビデオを再生状態にします。

4 目的の場面で録画側ビデオの一時停止を解除して、録画を始めます。

エディットスイッチについて

エディットスイッチを"入"にして再生すると、テープコピーに最適な信号を送り出しますので、画質の劣化を低減することができます。他機種と併用する場合は、できるだけ本機を再生側のビデオとしてご使用下さい。また録画、再生側とも本機をご使用の場合は、両機ともエディットスイッチを"入"にしてください。

デジタルNRについて

ノイズの多いテープをコピーするときは、本機を再生側として使用し、デジタルNRをONにすることにより、マスターテープよりノイズの少ないコピーをとることができます。この場合、シャープネスつまみを併用し、最適の画質になるようにテスト録画することをお勧めします。（☞ P15）



ご注意

- テープコピーをすると画質が劣化しますので、録画側ビデオを"標準モード"にすることをおすすめします。
- コピーする前に再生側のトラッキングが合っていることを確認してください。（☞ P14）
- テープコピーに際しては、著作権にご注意ください。（☞ P2）

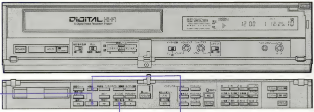
つなぎ録画

録画済テープに引き続き別の録画をするときは、一時停止／静止画ボタンを利用します。QIエディティング方式の採用でつなぎ部分で乱れの少ない録画をすることができます。

1 再生ボタンを押します。

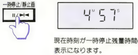
録画されているテープの最終部分をさがします。





2 一時停止/静止画ボタンを押します。

新たに録画したい部分で一時停止にします。



現在時刻が一時停止残量時間の表示になります。

ご注意

- つなぎ録画をするときは、録画モード（標準/3倍）をかえないでください。
- 一時停止は、テープやビデオヘッド保護のため約5分で自動的に再生状態になります。
- 一時停止からのつなぎ録画部分で、乱れの少ない画像が得られるよう、一時停止状態になるとわずかにテープを巻戻します。

3 録画ボタンを押します。

録画一時停止になります。ここでテレビ録画の場合、チャンネルボタンでチャンネルを選んでください。



4 もう一度録画ボタンを押します。

録画が始まります。（一時停止/静止画ボタンを押しても録画が始まります。）



受信チャンネルの合わせかた

本機は、1～62のチャンネルポジション(記憶場所)があり、出荷時にVHFの1～12チャンネル、UHFの13～62チャンネルが映るように記憶してあります。調整なしでもご使用いただけますが、放送のないチャンネルを飛ばすオートチャンネルスキップや、チャンネルを消したり復帰させるときは、次の方法で行ないます。
オートチャンネルスキップの操作をしておくと、チャンネルボタンを使用して選局するとき、目的の番組を早くさがすことができます。

操作するボタン

コンバートボタン

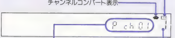
コンバート

放送内容とチャンネル表示を変えて(コンバート)使用する場合に、このモードにします。表示窓に"CH"マークが表示されます。

プリセットボタン

プリセット 入/切

"切"……通常使用時は"切"にします。
"入"……チャンネル調整時に"入"にします。このとき表示窓が下図のように "Pch" と表示されます。



ワンタッチ選局ボタン

ワンタッチ選局

購入後、使用開始時にプリセット状態でこのボタンを1回押すだけで、放送のあるチャンネルのみを受信することができます。

記憶/消去ボタン

記憶・消去

プリセット状態でこのボタンを押すことにより、表示窓に表示されているチャンネルポジションやチャンネル表示を記憶させたり消去したりします。

オートチャンネルスキップ

オートチャンネルスキップをしておくと、放送のないチャンネルをスキップ(飛び越し)して、放送のあるチャンネルだけを自動選局することができます。

1 表示窓に" CH "表示が出ていないことを確認します。

出ているときは、コンバートボタンを押して消します。

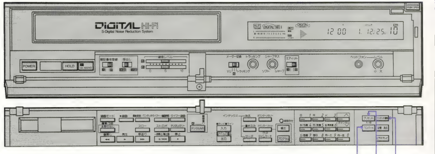




消します。

準 備

① テレビの電源を入れ、テレビのチャンネルをビデオ専用チャンネル1、または2にします。
② 本機の電源を入れ、ビデオ/テレビボタンを押して"ビデオ"にします。
③ 入力切換ボタンを"テレビ"にします。



② プリセットボタンを押して"入"にします。

プリセット表示にかわります。





チャンネルポジション表示

チャンネル表示

③ ワンタッチ選局ボタンを押します。

放送のある局を受信するごとに自動的に記憶し、その後先へ進みます。放送のないポジションは、自動的にキャンセルします。





1度押したら手を離す

チャンネルポジションが順次変わります。

62チャンネルまで進むと、放送のある局の最も小さい数字のチャンネルへ戻り、自動的にカウンター表示に戻ります。(この間約1分)

これでオートチャンネルスキップは完了です。

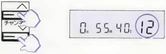
受信チャンネルの合わせかた

手動チャンネルスキップ

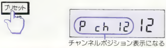
放送はしているけれど、ふだんはあまり見ないチャンネルや、電波が弱くて良く映らないチャンネルをスキップさせることができます。

たとえば12チャンネルをスキップさせるとき

1. 本体のチャンネルボタンで"12"チャンネルを出します。出します。



2. プリセットボタンを押して"入"にします。



チャンネルポジション表示になる

3. 記憶/消去ボタンを押します。チャンネル表示が"－－"になります。

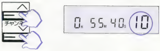


4. プリセットボタンを押して"切"にします。これで手動チャンネルスキップは完了です。チャンネルボタンで次のチャンネルに移動すれば、その後12チャンネルはスキップします。

チャンネルスキップした局の復帰

たとえば、今、スキップさせた12チャンネルを復帰させる 場合。

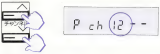
1. 本体のチャンネルボタンで、スキップされていないチャンネル(たとえば10チャンネル)にします。



2. プリセットボタンを押して"入"にします。



3. チャンネルボタンを押して、チャンネルポジション表示を"12"にします。同時にチャンネル表示が"－－"になります。



4. 記憶/消去ボタンを押して、チャンネル表示"12"を復帰させます。



5. プリセットボタンを押して"切"にします。これで"12"チャンネルが復帰し、カウンター表示に戻ります。

オートチャンネルスキップの操作で放送があるのにスキップしてしまった場合には、上記操作によりスキップされた局を復帰させてください。

放送の内容とチャンネル表示を変えたい場合 ― チャンネル表示のコンバート ―

オートチャンネルスキップでの選局では、放送局とチャンネル表示は決まった組み合わせになっています。本機ではコンバートボタンを使用することにより、受信する各放送局にご希望のチャンネル表示をさせる(コンバートする)ことができます。

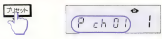
まず、1チャンネルの表示位置に42チャンネルの放送を記憶させる場合でご説明します。

1 コンバートボタンを押します。

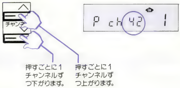
表示窓に"CH"表示が出ます。

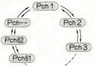


2 プリセットボタンを押して"入"にします。



3 チャンネルボタンで"42"チャンネルの画像を出します。

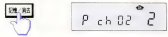




Pch -- に設定すると、そのチャンネル表示位置(この場合"1"チャンネル)をスキップさせられます。

4 記憶/消去ボタンを押します。

これで1チャンネル表示位置に42チャンネルが記憶されました。表示窓は次のチャンネル表示に移動します。



5 3、4を繰り返すことにより、1から12チャンネル表示位置にご希望の局を記憶させます。

6 プリセットボタンを押して"切"にします。

これでコンバートは終り、カウンター表示に戻ります。

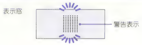
ご注意

- 以後はコンバートモードのままご使用ください。
- ビデオデッキが再生などの動作中は、受信チャンネルを合わせることができません。
- 受信チャンネルの調整でチャンネル数字を変えるときはシステムリモコンの10キーでなく、必らず本体のチャンネルボタンを使ってください。



ご注意とお願い

警告表示が出たときは(停止表示が点滅)



①シリンダヘッドに露がついている場合があります。
（➡露付きについて。）

②ビデオデッキの内部で、テープ走行又は機械に異常があったとき、大切なテープに傷をつけないように安全機構が働き、ビデオの動作を自動的に止め、電源が切れます。このような時は電源をいれもう一度操作してみてください。
それでも点滅するときは、お買い上げ店か、お近くのNECサービスステーションへご連絡ください。

露付きについて

冬、暖房のきいた部屋で窓ガラス一面に水滴がつく現象を露付きといいます。

露付きは…… 冷えている部屋を急に暖めたときやビデオデッキを冷えている部屋から暖かい部屋へ移動させたとき、湿気の多い部屋、湯気がたちこめる部屋で使用した場合、ビデオ内部のヘッドドラムやテープに露付きが生じることがあります。

本機には露付防止機構がついておりますが、この機能は電源コードがコンセントにはいっていないと働きません。

- 露付きが起こったときは、ビデオが作動しなくなります。このときはビデオカセットを取り出して数時間放置してから再びカセットを入れ、操作してみてください。

ビデオヘッドのクリーニング



再生画像が図のようになったときは、ビデオヘッドが汚れて、ヘッドの性能が低下しているためです。このようなときは、市販のビデオヘッドクリーニングテープ(非研磨性)で掃除してください。湿式のクリーニングテープを使うと故障の原因になることがあります。クリーニングテープの注意書きをよくお読みください。

ビデオヘッドの摩耗について

ビデオヘッドは摩耗します。摩耗すると鮮明な画像が映らなくなることがありますので、その時は、ビデオヘッドの交換が必要となります。お買い上げの販売店や、NECサービスステーションにご相談ください。

日常のお手入れ

■キャビネットのクリーニング

キャビネットの全面パネルの汚れは、柔らかい布（ネルなど）で軽くふきとってください。汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固く絞ってから汚れを拭きとり、乾いた布で仕上げてください。キャビネットの表面はベンジン、シンナー、殺虫剤など、揮発性のものをかけたりしますと変質したり塗料がはげることがあります。

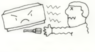
■点検のすすめ

ビデオデッキは、非常に高い精度を必要とする機械です。特にビデオヘッドやビデオテープを動かす機械部分は、お使いになる間に汚れたり摩耗してきます。これらの程度は、使用環境(温度、湿度、ほこり等)に左右されますが、性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくために、およそ1,000時間をめやすに点検(清掃、注油、部品交換）をされることをおすすめします。
くわしくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

安全のために

■中をあけないでください

キャビネットは外さないでください。危険なうえに故障の原因になります。点検、調整はサービスマンにおまかせください。



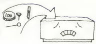
■水は禁物です

水のはいった花びんやコップを上におかないでください。故障の原因になります。



■物を入れないでください

通気孔などから金属や燃えやすいものを差しこんだり落したりしないでください。感電や火災の原因になります。



■電源コードを大切にしてください

電源コードを物にはさんだり、傷つけないようにご注意ください。また他のコードとより合わせたり結んだりしないでください。



■留守にするときは………

外出、ご旅行などで長期間ご使用にならないときは、必ずプラグをコンセントから抜いてください。



■万一、異常があるときは………

万一、異常な音、におい、煙が出たようなときは、電源スイッチを切るだけでなく、プラグをコンセントから抜いてすぐNECサービスステーション、電気店などにご連絡ください。



■カセットドア内に手を入れないでください。

カセットドア内に手や物を入れると、ケガや故障の原因になることがあります。特に小さなお子様の居るご家庭ではご注意ください。



設置場所にご注意ください

ビデオは精密な機械です。次のような場所でのご使用は避けてください。特に、ビデオヘッドは湿気やほこりによって汚れたり、摩耗を早めたりして、鮮明な画像を損なうことがあります。

- 寒いところ（5℃以下）



- 振動の激しいところ



- 暑いところ（熱を発生するものの上など）や直射日光のあたるところ



- 湿気の多いところ



- ほこりや油煙の多いところ



- 磁気の発生しているところ



- 風通しの悪いところ



- 不安定なところ（ぐらついた台の上などは避けてください）



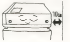
取扱いについて

■通風孔はふさがないでください

内部の温度上昇を防ぐため、キャビネットには通風孔があけてあります。本機にテーブルクロスやカバーをかけたままにしたり、ふとんの上に置いて使用したりしないでください。

■壁から離してください

10cmくらいあけてください。



■本機の上に重いものをのせないでください

15kg以上のテレビなどをのせないでください。

■持ち運び、保管の際は………

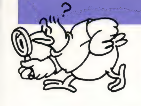
強い衝撃を与えないでください。移動させるときは、必ずビデオカセットを取り出してください。コンセントからプラグを抜くときは、電源を切ってから電源プラグを持って抜いてください。

■テレビの近くに置く場合は………

録画、再生中、画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状がでた場合はテレビから離してください。

オールクリアのしかた

電源ボタンを押しても電源が入らなかったり、窓の表示が正常でなかった場合、時刻合わせボタンを押したまま電源プラグを抜き差しし、いったん"0"（ゼロ）表示にした後、時刻や予約を再設定してください。



故障かな?

修理にお出しになる前に、もう一度次の点をお調べください。

(RF接続……ビデオデッキとテレビをアンテナ線のみで接続している場合
AV接続……ビデオデッキとテレビをアンテナ線と映像・音声端子で接続している場合)

	症状		原因	処理	参照ページ
電源	電源が入らない。		電源コードが抜けている。	コンセントに差し込む。	—
			タイマー予約中になっている。	タイマー録画ボタンを押して表示を消す。	35
録画	画像がテレビに出ない。		接続コードが抜けている。接続が誤っている。	適切な接続をする。	別冊
			入力切換スイッチが "ライン" になっている。	"テレビ"にする。	9
			ビデオ/テレビボタンが"テレビ"になっている。	"ビデオ"にする。	12
		RF接続	テレビがビデオ専用チャンネルになっていない。	ビデオ専用チャンネルにする。	別冊
			テレビのビデオ専用チャンネルが正しく調整されていない。	テレビのビデオ専用チャンネルを調整する。	別冊
		AV接続	テレビのビデオ切換がテレビになっている。	ビデオ入力にする。	別冊
	録画した画像がきれいに写らない。		アンテナの接続が正しくない。	接続をやり直す。	別冊
			本機のチャンネル合わせが十分でない。	正確に受信チャンネルを合わす。	47
			テレビのビデオ専用チャンネルが正しく合っていない。	テレビのチャンネルを微調整する。	別冊
	録画ボタンを押すと、カセットが出てくる。		カセットのツメが折れている。	穴をセロハンテープでふさぐ。	8
再生	再生画像がきれいに写らない。		トラッキング調整が正しくない。	トラッキングつまみで調整する。	14
			録画のとき、本機の受信チャンネルが正しく調整されていない。	本機の受信チャンネルを正しく調整し直す。	47
			テープが古くなっている。	新しいテープを使う。	—
	テープが走行しない。		本機内部に露付きが起きている。	カセットを取り出し、数時間放置する。	51
	音がとぎれたり、「プチッ」という音が入る。		テープに傷があるか、古くなっている。	新しいテープをつかう。	—
再生音声	本機で録音したテープを再生しても、ノーマル音声しか聞こえない。		音声出力ボタンが"ノーマル"になっている。	"ステレオ" にする。	10
			トラッキング調整が正しくない。	トラッキングつまみで調整する。	14
	Hi-Fiランプが点灯しない		トラッキング調整が正しくない。	トラッキングつまみで調整する。	14
	主音声と副音声が両方聞こえる。		音声出力ボタンが "ステレオ" になっている。	"左"、または"右"にする。	10
	レベルメーターが"L"側しか点灯しない。		メーター切換スイッチが "トラッキング" になっている。	"VU"に切換える。	39
タイマー録画	タイマー録画ができない。		途中で停電があった。	時計合わせをし、タイマー指定をし直す。	21、33
			タイマー指定が正しくない。	指定し直す。	33
			カセットが入っていない。	カセットを入れる。	—
			カセットのツメが折れている。	穴をセロハンテープでふさぐ。	8
			タイマー録画ボタンを押さなかった。	タイマー録画ボタンを押して⊡表示を出す。	33
リモコン	リモコンが働かない。		電池が古くなった。	新しい電池に2本とも取りかえる。	20
			電池の⊕⊖が逆になっている。	表示通りに正しく入れる。	20
			本機の受光窓に向いていない。	リモコンを受光窓に向ける。	19



アフターサービスについて

調子の悪いときはまずチェックを

"故障かな？"(53ページ)を参考にして、故障かどうかお調べください。

それでも具合いの悪いときはサービスへ

お買上げ店、または添付の "NECサービス・お客様相談窓口一覧表" にあるお近くのNECサービスステーションに修理をお申しつけてください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

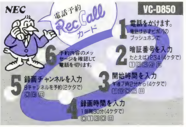
- 出張修理をご依頼になるときは次のことをお知らせください。

①機種名は……VC-D850
②お名前・ご住所
③電話番号　ご自宅か、お勤め先の
④故障の状況　なるべくくわしくお知らせください
⑤道順　車で行く道順、お近くの目印
⑥訪問ご希望日
⑦お買上げ年月日

■保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 万一故障した場合の無料修理期間は、お買上げ日より1年間です。

添付されている「電話予約Rec Callカード」を万一紛失した場合は、下記の部分を切り取ってご利用ください。



保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お買上げ店またはNECサービスステーションにお問い合わせください。
このほか、この説明書で調べたが、調整のしかたがよく分からない、またよく映らないというときにも、この説明書を見ながらお近くのNECサービスステーションに電話でご相談ください。簡単なミスならば、それだけで直ることがよくあります。
万一、ビデオデッキ及びビデオカセットの不具合により、録画されなかった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。
なお、当社はビデオデッキの修理用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低8年間保有しています。

主な仕様

録画/再生方式	回転ヘッドアジマス記録VHS規格
映像信号	NTSCカラー方式 EIA標準方式
録音方式	VHSハイファイ(2チャンネル)
	(従来の音声トラックへはモノラル録音)
受信チャンネル	VHF 1~12チャンネル
	UHF 13~62チャンネル
アンテナ	VHF/UHF混合 75Ω 外部アンテナ用端子
	アンテナ分配器 内蔵
ハイファイ音声特性	ダイナミックレンジ:90dB以上
	周波数特性:20~20,000Hz
	ワウフラッター 0.005%以下
映像入力信号	1.0V(P-P)75Ω不平衡 同期負
映像出力信号	1.0V(P-P)75Ω不平衡 同期負
音声入力信号	-8dB
音声出力信号	-8dB
RF出力	1chまたは2ch(切換式)
テープ速度	33.35mm/s(標準モード)
	11.12mm/s(3倍モード)
録画・再生時間	標準モード:160分
	3倍モード:480分
	(ビデオカセットT-160にて)
リモートコントロール	ワイヤレスリモコンユニットTRB-D85にて可能
トラッキング	可
動作姿勢	水平(30°以内)
動作温度	+5℃~+40℃
保存温度	-20℃~+65℃
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	41W
電源コンセント	400W
大きさ	430×99×375mm(幅/高さ/奥行)
重さ	8.4kg
タイマー	電源周波数同期式(50Hz/60Hz自動切替)
	最大3週間8プログラム 24時間デジタル表示
添付品(各1)	VHF/UHF分波器
	接続コード
	(ビデオ・オーディオ用ピンプラグ3↔ピンプラグ3)
	電話機コード(10m)
	F型プラグ(300Ω→75Ω変換、同軸→F型変換兼用)
	ワイヤレスリモコンユニットTRB-D85
	単3乾電池2個

電話機能

認定番号	S87-0261-0
適用回線	一般加入電話回線
回線容量	局線数1
網制御方式	簡易自動着信型
直流回路の直流抵抗値	直流回路を閉じている時 約250Ω(20mA時)
	直流回路を開いている時1MΩ以上
応答方式	音声合成音による応答
着信検出	呼出し音検出(3/7回及び15回切り換え)
回線復帰	誤入力3回、30秒放置、強制終了コード入力時

●本機は日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる国ではお使いになれません。

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

添付されている「電話予約Rec Callカード」を万一紛失した場合は、下記の部分を切り取ってご利用ください。

いろいろな操作

暗証番号入力のあと、ビデオの現在状態のメッセージが出たらゆっくりと該当のボタンを押してください。それぞれの操作と操作の間には、必ず"✱"ボタンを押してから次の入力を行なってください。

すぐ録画コール	7 8 #	チャンネル切換を命令。
	C H #	チャンネル番号を入力。(2ケタ入力)
	7 0 #	テープの終りまで録画をすぐ開始。✱を押してから。
録画延長コール	7 1 #	録画時間を最大6時間まで延長。(録画中のみ延長可)
電話予約取り消しコール	7 2 #	電話予約の内容の取り消し。
タイマー予約スタンバイコール	7 5 #	タイマー予約のスタンバイ(⌟を点灯)
タイマースタンバイ解除コール	7 4 #	現在スタンバイ中のタイマー予約の解除。(⌟を消灯)
タイマー予約確認コール	7 7 #	予約中のプログラム番号確認。
	続けて 1-8 #	内容の確認。
テープ巻戻しコール	7 3 #	テープの巻戻し
テープ停止コール	7 6 #	録画中、および巻戻し中のテープを停止
録画モード変更コール	7 9 #	標準は 1 #、3倍は 3 # で入力。

✂ ← 切り取り線にそって、切ってお使いください。

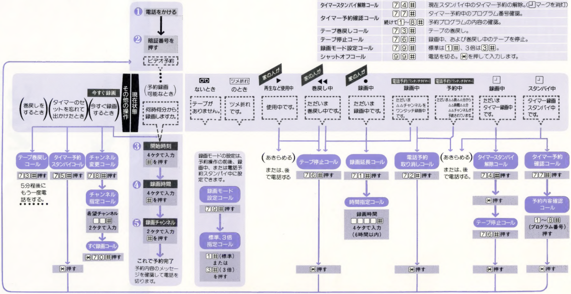
電話予約といろいろな操作 早わかり

いろいろな操作

暗証番号入力のあと、ビデオの現在状態のメッセージが出たらゆっくりと該当のボタンを押してください。それぞれの操作と操作の間には、必ず"＊"ボタンを押してから次の入力を行なってください。

すぐ録画コール	78＃	チャンネル切換を命令
	CH＃	希望の録画チャンネルを入力。(2ケタ入力)
	70＃	テープの終りまで録画をすぐに開始します。＊を押してから。
録画延長コール	71＃	録画時間を最大6時間まで延長。(録画中のみ延長可能)
電話予約取り消しコール	72＃	電話予約の内容の取り消し。
タイマー予約スタンバイコール	75＃	タイマー予約のスタンバイ。(タイマーマークを点灯)
タイマースタンバイ解除コール	74＃	現在スタンバイ中のタイマー予約の解除。(タイマーマークを消灯)
タイマー予約確認コール	77＃	タイマー予約中のプログラム番号確認。
	続けて1～8＃	予約プログラムの内容の確認。
テープ巻戻しコール	73＃	テープの巻戻し。
テープ停止コール	76＃	録画中、および巻戻し中のテープを停止。
録画モード設定コール	79＃	標準は1＃、3倍は3＃。
シャットオフコール	99＃	電話を切る。＊を押して入力します。

外出先からの電話予約



いろいろな操作をしたあと、新たにビデオ予約するときは、"＊"ボタンを押し、"ビデオ予約"のメッセージが出てから行なってください。

HI-TECH FOR HI-TOUCH いま、NECがおもしろい。

NEC

日本電気ホームエレクトロニクス株式会社
〒108 東京都港区芝5-37-8 住友三田ビル TEL.03-454-5111(大代表)
お問い合わせ――――商品販売本部 オーディオ・ビデオ販売部

78818052

NEC

VC-D850

お 願 い

『タイマー予約操作について』

●ビデオデッキ本体で予約する場合

チャンネル設定するとき、10キーでチャンネルを入れた後も、チャンネル番号が点滅している場合は、点滅（約1秒）が終ってからつぎの操作をしてください。

（タイマー予約操作については「取扱説明書」P35・36をご覧ください。）